

ウォーターセーフティー キャンペーン2026

水上安全プログラム報告書

ウォーターセーフティーキャンペーン2026

熊本YMCAでは、今年度も一人ひとりの生命を守り育てる社会をつくるために、全国YMCAと協同して「ウォーターセーフティー（水上安全）プログラム」を熊本県内で展開しました。

概 要

成長するにつれ、水による生活圏を広げていく子どもたちに対して、必要な知恵を授け、身を守る術を伝えていくことが、私たちYMCAの大切な働きであると考えています。例年、水辺での水事故により多くの尊い生命がなくなっていることを教訓に、31年前より幼稚園・保育園・小学校への外部指導として取り組んでおります。

キャンペーン内容として、熊本県下に「着衣泳体験」を中心とした水上安全講習会、また地域の小学校児童を対象に「みんな泳げる25m運動」（水泳特別プログラム）を実施しました。

名義後援・協賛団体

■名義後援（順不同）

熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、大牟田市教育委員会、合志市教育委員会、
阿蘇市教育委員会、菊陽町教育委員会、益城町教育委員会、御船町教育委員会、
ワイズメンズクラブ国際協会・東日本区・西日本区

報道機関・地域情報誌

■報道機関（順不同）

熊本放送	7月10日（金）夕方NEWS放送
熊本県民テレビ	7月10日（金）夕方NEWS放送
テレビ熊本	7月10日（金）夕方NEWS放送
毎日新聞熊本支局	7月29日（水）配信

※「ウォーターセーフティーキャンペーン2026」に関する情報は、
熊本YMCAホームページ（右記QRコード）に掲載しております。



実施内容

1. 「YMCAウォーターセーフティーハンドブック」の無償配布

熊本県内および、大牟田市の小学校1年生対象

2026年度実績：121校 13,200部

2. 小学校および、幼稚園・保育園での水上安全講習会

YMCAの水泳教室では水難事故が多発する夏の季節に合わせ、子どもたちを水の事故から守る水上安全教育の一環として着衣泳体験（服を着たまま水に入る）を実施しています。水着で水泳をしているときとの違い、体を動かしにくいことの体験と水の事故を未然に防ぐための知識と技術を身につけることを目的としています。

2026年度実績：24校・園 1,809名

3. 水泳特別プログラム「みんな泳げる25m運動」

水泳授業が始まる6月に合わせ、大切な生命を育む活動の一環として、水泳に対する苦手意識の軽減と楽しい水泳を学ぶ場の提供のため、水泳が苦手な児童を対象に講習会を実施しました。

2026年度実績：4校 57名

所 感

本年度の活動を通じて、着衣泳プログラムを毎年継続して実施することの教育的意義を強く実感いたしました。複数回受講している児童・園児においては、水中での適切な浮き身の姿勢や呼吸の確保など、自己保全のための具体的な動作が確実に定着しつつあります。また、教職員や保護者の皆様の水上安全に対する意識向上にもつながっており、地域一体となった防災教育としての広がりを見せております。

一方で、本年度は急な大雨や震災の影響により、プログラムの中止を余儀なくされる事例が発生いたしました。自然災害の予測困難さを改めて痛感するとともに、天候不良時における代替プログラム（屋内での座学や映像教材を用いた安全指導など）の柔軟な構築が今後の課題として明確になりました。参加したすべての児童・園児が「自他の生命の尊さ」を学ぶ重要な機会となった本活動を、今後も途絶えさせることなく継続していくことが重要であると考えます。今回の課題を踏まえ、今後は気象状況等に応じた臨機応変な実施体制を強化し、教育委員会や各学校・園との緊密な連携のもと、地域の水上安全教育のさらなる充実に努めてまいります。

報告者：相嶋 千尋（公益財団法人 熊本YMCA 生涯学習事業部門）

活動写真①





みつかる。つながる。よくなっていく。

公益財団法人 熊本YMCA